

○ 中学校社会 第2学年 ③

「日本の諸地域 九州地方」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点		
			関意	思判表	知技理
(1)	みかんとりんごの生産上位県の分布から、それぞれの生育条件を判断させる問題である。副次的には、九州地方ではみかん栽培がさかんであることも理解できる。	地理的分野の内容(2)ウのうち、九州地方を、(ウ)「産業を中核とした考察(農業)」として取り扱った活用問題である。	○	◎	
(2)	資料1と関連付けながら、資料3の示す県はどこであるかを判断させる問題である。両資料のデータを丁寧に読み取って判断する力が必要である。	九州における農業の特色を概観する資料を導入に、みかんやりんご、畜産や米、野菜などの生産の特色をつかませる問題構成としている。 問題を解く際には、提示された資料から読み取れる情報や、	○	◎	
(3)	表2で示されている「各資料」と、「各資料から考えられること」との関係考察によって、不適切なものを選択する問題である。資料から適切な情報を読み取り、それを解釈する力が必要である。	産業に関するこれまでの既習知識などを活用していくことが大切である。 県内の使用教科書では、九州地方については「産業を中核とした考察」としての取扱いはなされていないことから、他地域	○	◎	
(4)	資料4で示す「たまねぎ」、「トマト」、「きゅうり」の入荷量及び月別平均価格のデータから、3種の野菜生産に共通している工夫点(九州地方における野菜生産の工夫点)を導き出す問題である。	で習得した社会的な見方や考え方を九州地方に転用させることによって、九州地方に対する理解や、産業を中核とした特色のとらえ方のスキルを深めることが主なねらいである。	◎	○	